



在京宮崎県人会広報委員会
TEL 03-3222-1448
東京都千代田区九段南4-8-2
宮崎県東京ビル内

第23号

2011年4月発行



がんばろう宮崎

在京宮崎県人会会長

菅本 郁夫

新春早々から、多時多端の年となりましたが、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年、猛威をふるった口蹄疫との戦いも、他府県に被害を及ぼすことなく、県民あげての不眠不休のご努力により、無事終息宣言をむかえ、安心したのも束の間、新年に入るや、一月には鳥インフルエンザが佐土原町に発生、瞬く間に県内各地に飛び火し、加えて霧島山（新燃岳）が噴火するなど大変憂慮しております。一日も早い災害の鎮静化を祈っております。

そして三月には、未曾有の東日本大震災と巨大津波に襲われ、加えて、原子力発電所の相次ぐ爆発事故に伴う放射能汚染問題は極めて憂慮すべき状況にあります。被災地の惨状を見るにつけ、慰める言葉もございません。

犠牲者の皆様のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。

リーマンショックにより急激な落ち込みとなったわが国経済も、中国をはじめ新興国を中心とする景気の堅調に支えられようやく踊り場を脱却しつつある最中の大災害だけに、被災者の生活再建と一刻も早い災害復興のために、与野党あげて真剣に取り組みすべきであります。震災復興に向けて、補正予算はもとより最も重要な二十三年度予算関連法案の早期成立に、与野党ともに政局として弄ぶことなく真摯に対応される事を切に望みます。

さて、このたび東国原前知事の路線継承を標榜される河野知事が誕生致しました。ふるさと宮崎県にとっては、地方に共通の課題、即ち、景気・雇用・医療・福祉等の問題に加え、口蹄疫、鳥インフルエンザ、新燃岳噴火の災害復旧、再生の課題が山積しております。

在京宮崎県人会としても、河野新知事を全面的にサポートしていきたく存じます。昨年同様、ふるさと宮崎に対し皆様の熱いエールをお願い致します。

在京宮崎県人会のメインイベントである今年度総会は十月八日（土）正午より、アルカディア市ヶ谷において開催されます。河野知事もご出席を予定されており、新知事歓迎のためにも、大勢の皆様のご出席をお待ち申し上げます。皆様の元氣なお姿にお目にかかれる日を楽しみにしております。



新任のご挨拶

宮崎県知事

河野 俊嗣



私は、先の知事選挙において、県民の皆様から温かい御支持と御支援を賜り、第五十三代宮崎県知事に就任いたしました。県民の皆様への御期待に応えるべく、全力で県政運営に取り組んで参ります。

はじめに、東北地方太平洋沖地震において犠牲となられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に衷心よりお見舞いを申し上げます。

さて、本県は、新燃岳の噴火や鳥インフルエンザの発生が県

民生活や地域経済に深刻な影響を及ぼしており、これらに加え、口蹄疫からの再生・復興をはじめ、景気・雇用対策や社会資本の整備、子育て・医療対策、中山間地域対策等の課題が山積しております。また、少子高齢・人口減少の本格化、地域規模の資源・環境問題の顕在化、地方分権の進展など、本県を取り巻く状況は、今後大きく変化していくものと考えられます。

宮崎県は、今まさに正念場であり、極めて重要な時期を迎えています。

私は、これらの直面する課題にしっかりと向き合うとともに、未来を見据え、真に豊かな宮崎県を築くための基礎づくりを進めて行かなければならないと考えております。

幸い本県は、温暖な気候や緑豊かな自然環境、先人たちが築き上げてきた彩り豊かな歴史風土、力強い産業、そして難局を乗り越えることでより強くなった県民の皆様との「絆」など、多くの可能性に恵まれています。これらを最大限に生かしながら、これまで以上に、県民の皆様や本県ゆかりの皆様、国、市町村、各種団体等との対話と協働を図り、新しい宮崎づくりに取り組むことで、必ずや希望に満ちた宮崎の未来を築くことができると確信しております。

私は、総務部長、副知事として五年半の本県勤務の中で、公私ともに多くの方と出会い、様々な仕事、経験をさせていただきました。そして何よりも人情味豊かな県民性に触れることにより、今や宮崎県は、私の「第二のふるさと」となりました。

これから四年間、この愛する宮崎のために、全力で県政運営に取り組みますとともに、県民の皆様と一丸となって、宮崎の更なる躍進に向け、誠心誠意努力してまいりますので、皆様方の変わらぬ御理解、御支援をお願い申し上げます。

終わりに、在京宮崎県人会の益々の御発展と皆様方の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げ、ごあいさついたします。



新幹事長として一言

在京宮崎県人会幹事長 武田 照雄

私は昨年の在京宮崎県人会の総会で幹事長に選ばれ、微力を省みず、松木前幹事長の後を引き継ぐことになりました。責任の重さを痛感しております。

幸い県人会の幹事には今回から働き盛りで有能な多くの若い人たちに参加して戴き、これからの会の発展が期待されます。故郷の新燃岳の噴火、鳥インフルの問題はやや落ちついた状況になっておりますが、また予期せぬ〇〇の巨大地震・東北関東の大震災、大津波の発生、それに伴う福島原発事故の発生、と今までに経験したこともない大惨事が起こりました。国難という大変な状態が続いております。正に日本国民全体が試されていると感じております。

宮崎県も新しく河野知事になりました。全ての県民が新知事の下で復興に努力されております。

我々在京宮崎県人会も会員の皆様の更なる協力と郷土愛、ひいては愛国心をもう一度思い出して戴き、郷土のため、国のため、何が我々にできるのかを考えて行きたいと思っております。

そのためには県人会に元氣を取り戻させ、どうしたら発展させることができるのか、多年の課題を解決するために幹事・各委員会の方々に頑張ってもらっております。

榎本会長が就任時に掲げられた四つの課題（会員増強、財政基盤、対外発信力、県政活動に対する推進・強化・支援など）の下に、企画・広報・組織・活性化の四つの委員会が設置され、委員の中には若い方々も進んで参加してくれました。各委員会の合同委員会も適宜に開催されており、県人会の今後の在り方などについて活発な意見も出され、県人会の発展のために努力しております。

在京宮崎県人会の今後の在り方についての一番の重要な問題は県人会の財政の問題だと思います。健全な財政を確保するためにはやはり維持する会員を増やすことです。県人会に入会したらどのように会を利用できるか、会員全員のメリットは何があるのかなどについても議論しております。一人でも多くの会員の増加を図ることが県人会の発展に繋がると 생각합니다。在京県人会の皆の協力を重ねてお願い致します。

各自忙しい中で会の運営に参加されて努力されている幹事の方々を始め、県人会の方、お世話になっている宮崎県東京事務所の所長始め職員の方々と相談しながら県人会の運営に参加していくことが私の役目と思っております。

松木前幹事長の様に多方面に対する知識の全く無い私には幹事の皆様始め在京宮崎県人会会員の皆様に協力・ご指導を戴いて榎本会長を中心として会の発展に努力致しますのでよろしくお願いいたします。



二十三年度

在京宮崎県人会 総会・懇親会のご案内

実行委員長 村田 浩平

宮崎県では口蹄疫・鳥インフルエンザ・新燃岳噴火と大変な災害が続いておりますことにつき、心からお見舞い申し上げます。今年も掲題の総会・懇親会を次のように進めるよう実行委員会にて検討しております。

日程・会場は既に決定いたしましたので、前もって御案内申し上げます。会員の皆様には日程を押えていただき、奥様・ご家族及び宮崎県ご出身の多勢の皆様とお誘い合わせの上、揃ってご参加頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

■日 時 二十三年十月八日（土） 十二時開始
■会 場 アルカディア市ヶ谷（私学会館）

電話 〇三―三三六―一九九二

千代田区九段北四―二―三十五

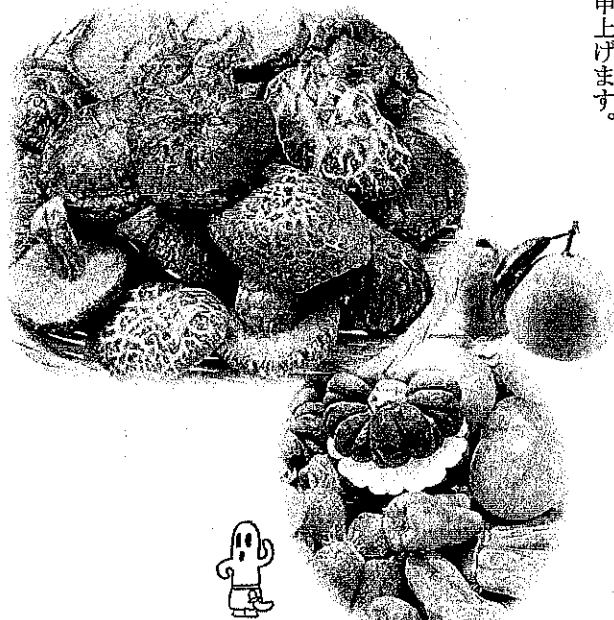
交通（JR・有楽町線・南北線・新宿線）市ヶ谷駅下車

■年会費・懇親会費

性別	年会費・懇親会費
男 性	八、〇〇〇円
女 性	七、〇〇〇円
本人及び家族二名	二二、〇〇〇円

当日は、宮崎県河野俊嗣知事、いつもご支援いただいておりますご来賓の方々をはじめ、多くの会員の方々と一緒に楽しいひとときを持ちたいと考えております。イベントでは、『伊藤久男生誕百年記念式典・伊藤久男歌謡部門』優勝者の小松敬彦さん、歌手を目指す坂下博憲・登代子ご夫妻が出演予定です。ふるさとの産物などを食べることも検討しております。特に初めての方のご参加も大歓迎です。

最後になりましたが、ふるさとの一日も早い復興と更なるご発展を心からお祈り申し上げますと共に、皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

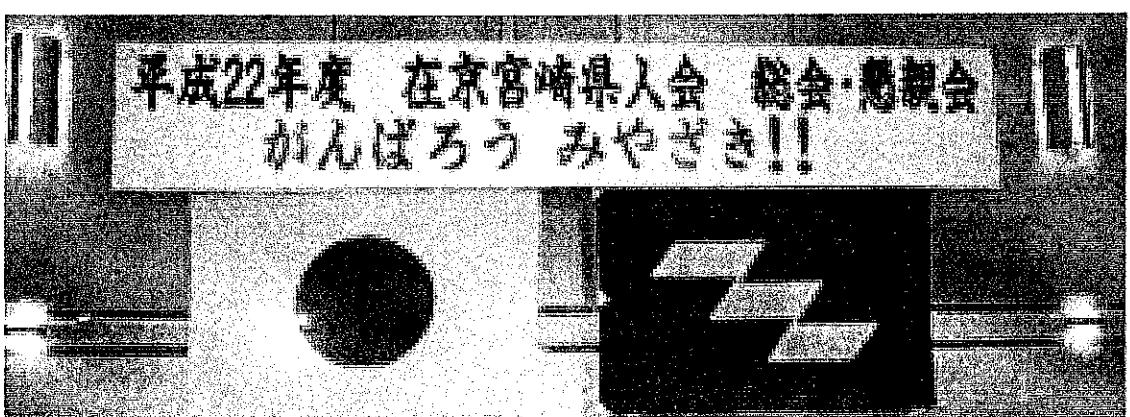


宮崎県関係出版物から、使わせて頂きました。

平成22年度 在京宮崎県人会 総会・懇親会
がんばろう みやざき!!



私たちは宮崎県を応援します!
口蹄疫被害救済基金



22年在京宮崎県人会総会・懇親会 老若男女 みやざきのひととき

今年も逢えたね♡ 嬉しいね♡ 楽しいね♡ 美味しいね♡ 来年また逢おうね♡♡♡



■在京宮崎県人会ホームページをご存知ですか？

在京宮崎県人会については勿論のこと、在京市町村人会・同窓会、宮崎県、KONNEなどの情報、そして宮崎日日新聞社提供により、日々の郷土情報が検索できます。

どうぞ、県人会のホームページをクリックして見て下さい。

▽在京県民活動トピックス(在京宮崎県人会／在京経営者会議／一金会／年間主要行事)

▽ふるさとトピックス(宮崎物産展案内／KONNE情報)

▽市町村人会／同窓会案内

▽わが町・わが村便り(記事提供／宮崎日日新聞社)

▽在京宮崎県人会組織概要(役員／会則／入会案内)

▽協賛会社一覧

▽リンク

《県人会・郷土人会・同窓会関係のホームページリンク集》

いっちゃんが宮崎／千葉地区宮崎県人会／在京串間会／五ヶ瀬町東日

本町人会／関東深山会／桜秋会／東京弦月会／高鍋高等学校在京同

窓会／東京延友会／東日本あがたま会

《宮崎に関する自治体・団体等のリンク集》

宮崎県庁／宮崎県東京事務所／みやざき観光情報「旬ナビ」

観光テレビ／みやざき／みやざきの特産品／KONNE新宿みやざき

館／情報みやざき みやざきぶらんど推進本部

尚、市町村人会・同窓会・他の活動情報など、当ホームページにふ

さわしい内容の話題がございましたら、県人会事務局にお聞かせ下さ

い。掲載の有無については検討の後ご連絡させていただきます。

♡♡♡ ありがとうございます♡♡♡

当会ホームページは、左記協賛会社の御支援に支えられております。

感謝を申し上げますとともに、今後ともよろしくお願い申し上げます。

▼井上酒造(株) ▼雲海酒造(株) ▼神楽酒造(株) ▼霧島酒造(株) ▼ジャ

パンプロテクション(株) ▼高千穂酒造(株) ▼マースジャパン(株) ▼宮

崎日日新聞社 ▼メディキット(株) ▼学校法人メイ・ウシヤマ学園

ハリウッド大学院大学

★その他にも、多くの方々の協賛ご支援を募っております。どうぞ
よろしくお願い申し上げます。(広報委員会)

■新宿みやざき館KONNEイベント情報(四月～七月)

▼高橋水産フェア(四月十五日～十七日) ▼みやざき「極甘フェ

ア」(四月二十二日～二十四日) ▼みやざきちりめん祭り(四月二

十九日～五月一日) ▼岸上蒲鉾フェア(五月六日～八日)

▼みやざき地頭鶏フェア(五月十四日～十五日) ▼ヤマエフェア

(五月二十日～二十二日) ▼完熟マンゴーフェア(六月五日～六

日) ▼みやざき鮎づくしフェア(六月十日～十二日) ▼相馬

羊堂展(六月十七日～十九日) ▼日向の物産・観光フェア(七月

二日～三日) ▼ヤマダイ黒酢フェア(七月八日～十日) ▼黒

にんにくフェア(七月十五日～十七日) ▼みやざき新米フェア

(七月三十日～三十一日)

※尚日程は、変更になることがありますので、ご注意ください。

■在京宮崎県人会役員

名誉会長：日高啓(宮崎) 顧問：松木國利(日向) 会長：榎本郁夫

(延岡) 副会長：長倉祐作(都城) 高山弘憲(日南) 佐藤純二

(延岡) 重久吉弘(宮崎) 田中美智子(小林) 幹事長：武田輝

雄(宮崎) 常任幹事：安藤信一(西都) 黒木敏(日向) 河野昭

(宮崎) 田原大三(美郷) 長崎秀一郎(えびの) 中島龍男(都城)

濱砂順一(西都) 宮川輝子(日南) 宮崎正子(宮崎) 村田浩平(小

林) 吉岡輝夫(木城) 吉門信夫(延岡) 吉田正(串間) 塚本

昭春(日南) 土工和夫(都農) 橋本世記男(都城) 黒木重昭(延

岡) 黒木良一(日向) 熊村剛幸(宮崎) 岡季子(宮崎) 梅原

誠吏(宮崎) 軍事宗則(西都) 森山利紀(都城) 幹事：泉田弘(美

郷) 岩井曉(延岡) 奥山豊(美郷) 小島基弘(高原) 田辺マ

ツ子(えびの) 鶴優治(日南) 野田典男(高原) 原宗晃(延岡)

平部克征(日南) 三谷春義(椎葉) 南久美子(宮崎) 村田博文

(串間) 和田昱二(日向) 渡辺典隆(五ヶ瀬) 長谷川高志(延岡)

坂口和志(高千穂) 土屋有(都城) 黒木幾雄(日向) 西芳弘(都

城) 河野泰士(宮崎) 本田利弘(宮崎) 杉田伸枝(小林) 花

地芽衣子(都城) 倉片厚子(都城) 柏木新一(宮崎) 津隈佳三

(延岡) 足利佳彦(西都) 石川賢一(宮崎) 岩本康司(都城)

中村泰治(都城) 佐保孝一(高千穂) 佐藤保(高千穂) 事務局：斉

藤光郎(高鍋) 上原康敬(都城) 会計監事：盛武建二(延岡) 星

原一弘(宮崎)

《編集後記》

ふるさと新燃岳の一日も早い鎮静化を願うなか、この度の東日本大
震災とそれに伴う原子力発電所の事故。そのむごさに被災者への言葉
を失った。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。
被災された方々の健康と、一日も早い地域復興を願わずにいられない。
そして私達も、多くのことを教わり、考えさせられた。

日常生活上におきた、計画停電による様々な問題。交通機関運転中
止、ガソリン販売中止、生活品の品切れ、放射能汚染問題、乱れ飛ぶ
風評など。オイルショック時以上の騒動をそこに見た。

日頃私達は、「有り余る物」、「便利さ」が当然かのような錯覚のなか
に過ごしている。それでいて豊かさを実感できない現実がある。

その「便利さ」に慣れてしまった私達。

多少の「不便さ」はあっても、生活の「質」を確かめたい。今日より
不便だった生活のなか、遅しく、そして人間らしく、心豊かに生きた

先人達の英知に、今こそ見習うべき時が来た。(権現山)

在京宮崎県人会

入会希望者を下記紹介下さい

電話/FAX 兼用

03(3222)1448

在京宮崎県人会事務局(月・水・金 十時～十八時)

東京都千代田区九段南四一八一 宮崎県東京ビル